



青色塗装に協力

ボランティア・インターアクト部が駐車場の塗装。

慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス内、障害者用駐車場の塗装し直しに参加。青色のペンキ塗りを手伝う。

鶴中央高生が青色塗装に協力

慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス（鶴岡市）内にある障害者用駐車場の塗装し直しが11日行われた。全国脊髄損傷者連合会の小林光雄副代表理事（71）が鶴岡市板井川在住で、鶴岡中央高ボランティア・インターアクト部のメンバー8人の協力を得て行った。障害者用の駐車場は国内では黄色など他の色の場合もあるが国際基準は青色。小林さんは14年前から「青色塗装活動」を行い、啓発活動もしている。「障害者の車がスムーズに駐車できるように、青色のスペースが

その場所なんだ」と認識してほしい」と話した。参加した中央高生は1、2年生各4人ずつの女子生徒。最初は刷毛やローラーの力の加減に戸惑いもあったが徐々に慣れた。2年生の菅原潤海さんは「色が鮮やかで、色ムラが出ないよう塗りました。楽しかった

です」。1年生の岡部実紅さんは「入学以来、コロナの影響もあって、活動が少なかった面があった。貴重な経験になりました」とそれぞれ語っていた。今後秋が深まり降雪まで、色が剥げた駐車場を中心に「青色塗装活動」は続けられていく。



日頃慣れないペンキ塗りが徐々に慣れて女子高生たちも楽しそうに作業した

荘内日報

掲載：令和2年9月15日